

10 シマアジ

(カモ目)

兵庫県ランク: C

Spatula querquedula

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパ西部からロシア南部、中央アジア、中国北部、カムチャツカ、サハリンなどで繁殖する。繁殖後はアフリカ、インド、東南アジアなどに渡り、越冬する。日本には春秋の渡りの時期に渡来する。越冬例もある。湖沼、河川、沼沢地、水田、ハス田など、水生植物のよく繁った水辺に生息し、草の実や水草、水生昆虫類、エビ類などを採食する。



写真提供：友田達也

(性別：メス(左)、オス(右))

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、北大東島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、三木市、高砂市、★南あわじ市、加東市、★稲美町、太子町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
	○								

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-5月と9-10月に生息する。個体数は少ない。秋はコガモの大群に混じっていることが多い。近年は多くは播磨地域のため池、但馬地域の円山川流域で観察されている。越冬期の出現は稀である。

保護上の留意点

水面近くに浮遊する植物の種子や水生昆虫類を餌としているので、播磨や阪神地域のため池や但馬地域の河川の自然環境の保全が重要。